

第5回 二子玉川地区水辺地域づくりワーキング

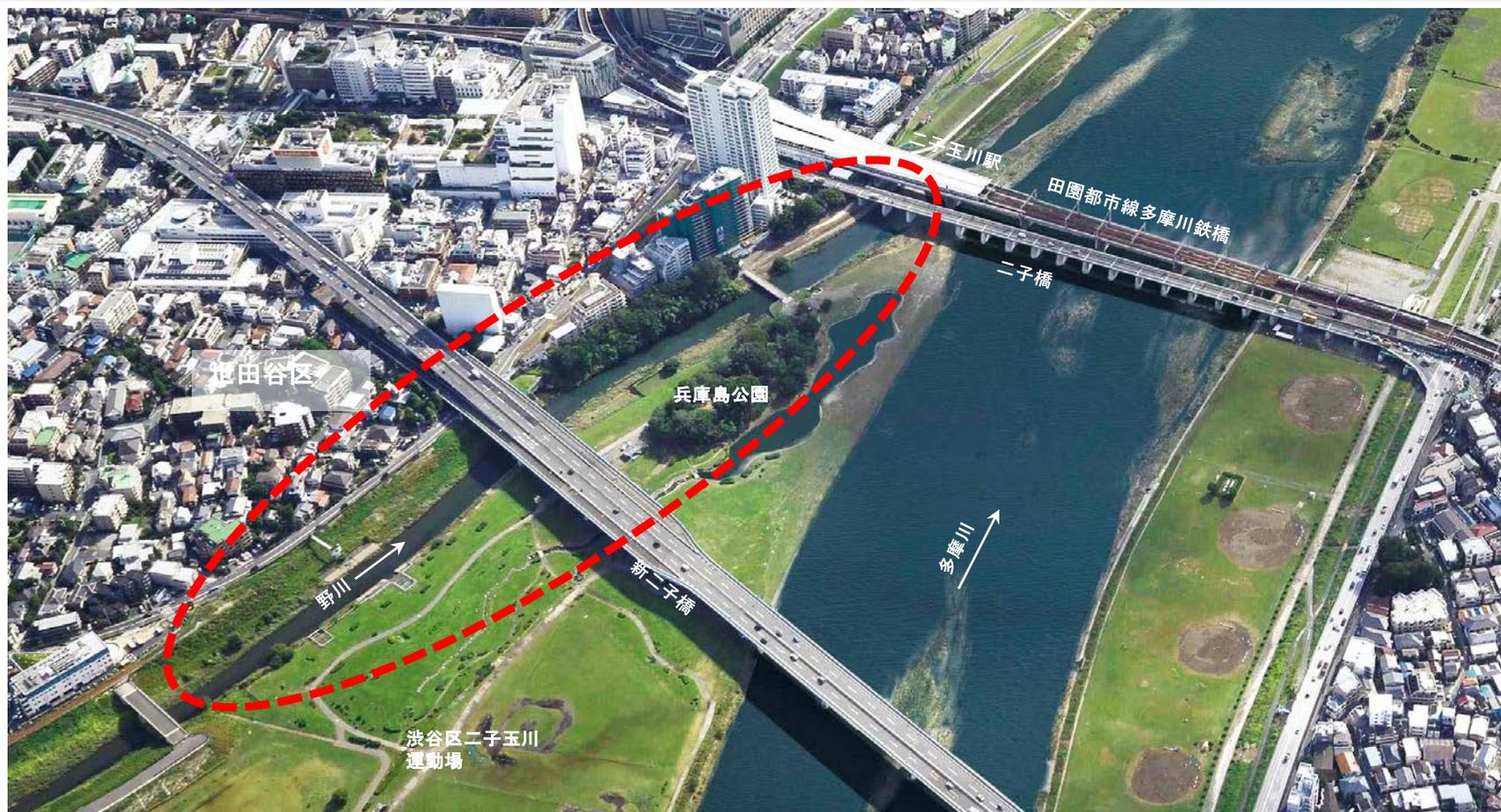
日時：令和元年6月30日（日） 14：00～17：00

場所：玉川区民会館（玉川総合支所 二子玉川仮設庁舎内）

議事次第

1. 開会あいさつ
2. ワーキング資料説明
3. 全体討議
4. 全体とりまとめ
5. 今後の予定
6. 閉会あいさつ

第5回 二子玉川地区 水辺地域づくりワーキング



日 時： 令和元年 6月30日 (日) 14:00 ~ 17:00
場 所： 玉川区民会館 (玉川総合支所 二子玉川仮設庁舎内)
世田谷区玉川1-20-21

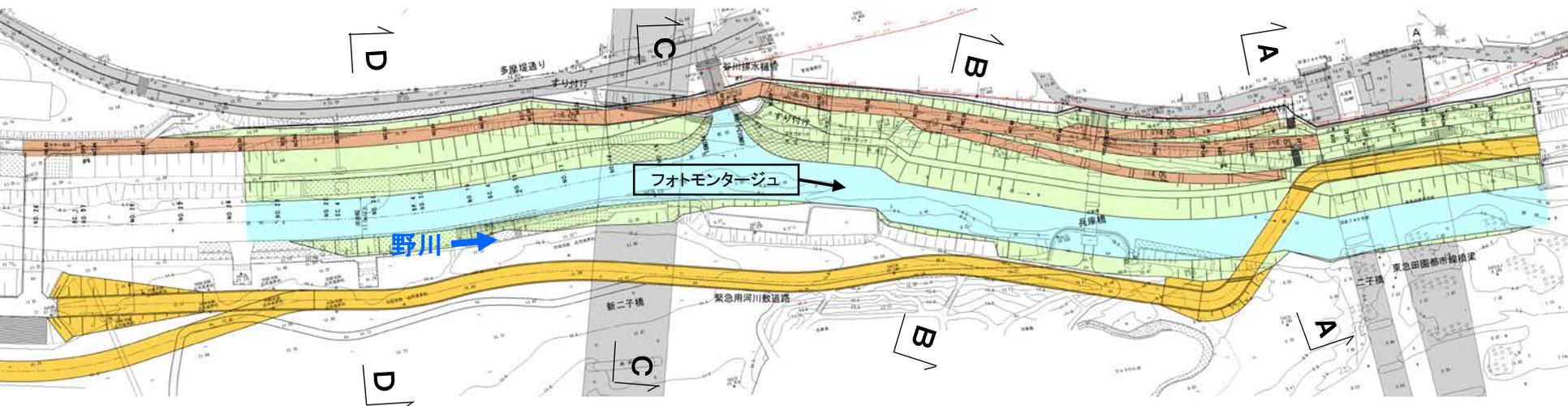
国土交通省 京浜河川事務所

1. 第1回WG時の当初整備案	1
2. 第4回WGまでをふまえた現時点の整備案	2
3. 第5回WGにおけるポイント	3
4. 洪水時の越水氾濫イメージ	4
5. (参考)兵庫橋の取り扱い	8

参考資料

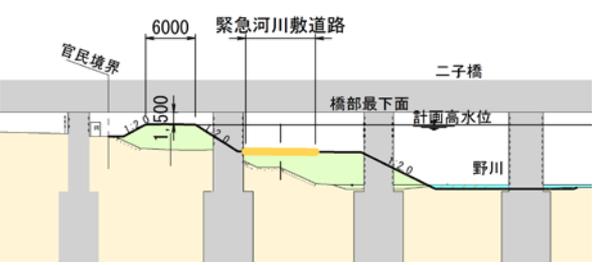
1. 第1回WG時の当初整備案

平面図

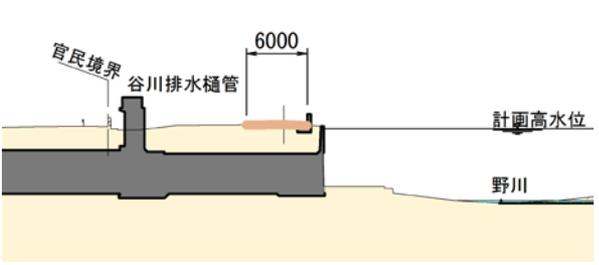


横断図

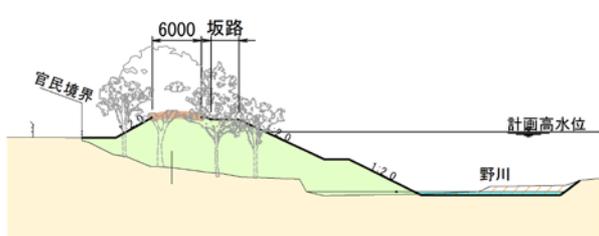
暫定堤防断面図(A-A)



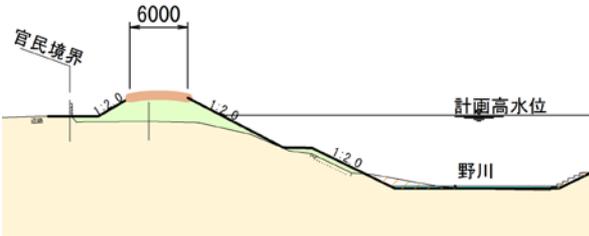
特殊堤面図(C-C)



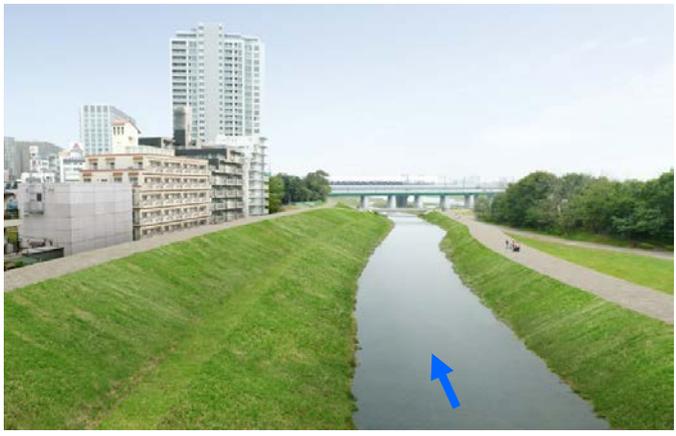
完成堤防断面図(B-B)



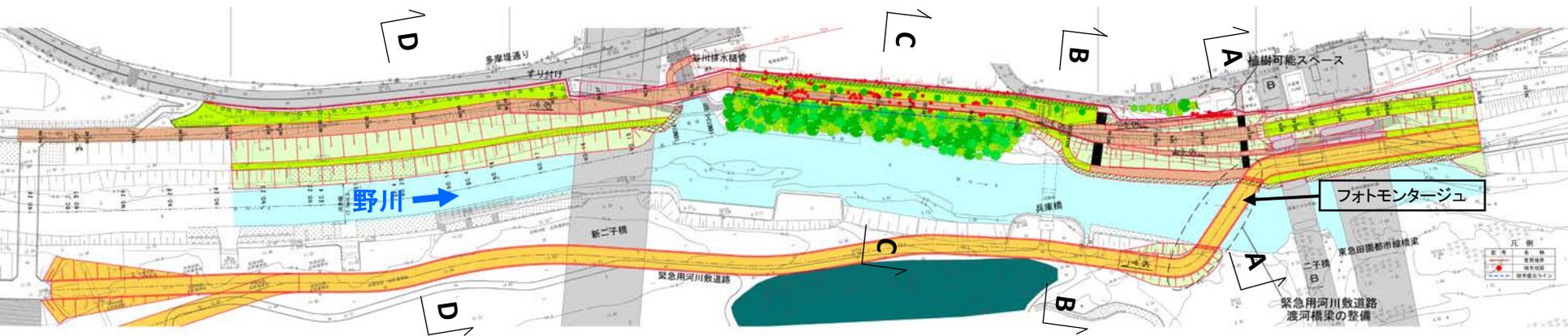
完成堤防断面図(D-D)



フォトモンタージュ

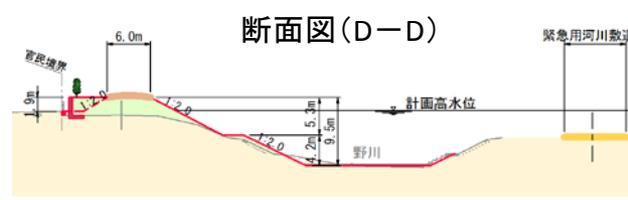
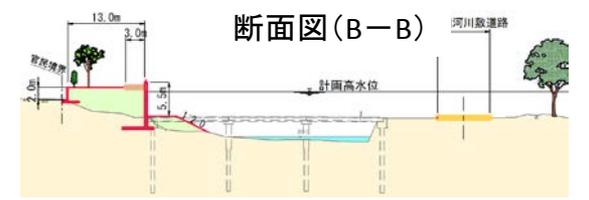
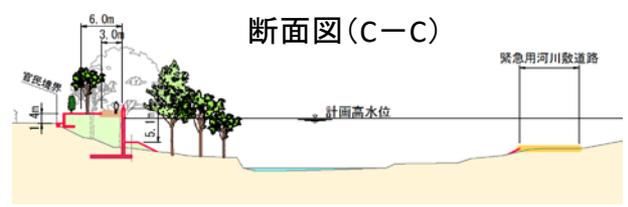
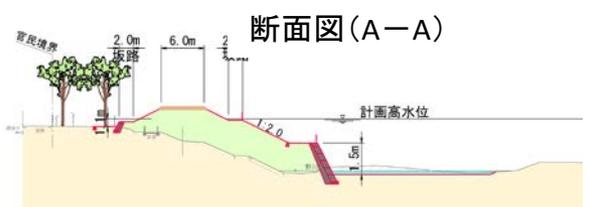


2. 第4回WGまでをふまえた現時点の整備案



横断図

フォトモンタージュ



3. 第5回WGにおけるポイント

堤防整備済(都)

上流端～新二子橋

新二子橋
～谷川排水樋管

谷川排水樋管～兵庫橋

兵庫橋
～二子橋

二子橋～下流端

暫定堤
整備済

動線

・【全体】二子橋から小山ドライブング区間の天端を動線として利用

・商店街から川に向かう通路を設置する

①堤防の高さ
HWL または
HWL+1.5mの完成高さ

・兵庫島への動線を確保するため福祉坂路と階段(2箇所)を設置

・桁下が低いため堤防天端は通行止め

②兵庫橋を残すか、撤去するか

③マンション前は、プライバシー強化のための植樹

④天端通行をするかしないか

堤防整備

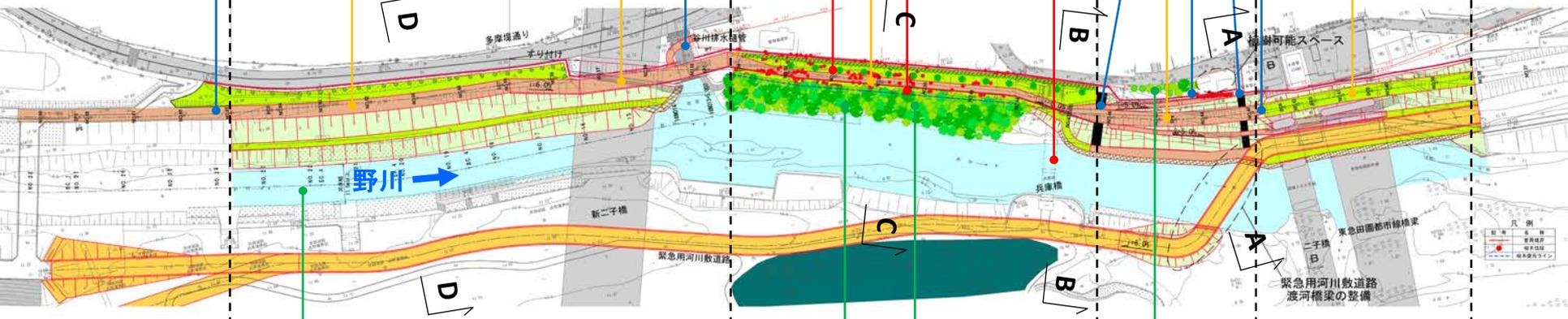
・完成堤(土堤)による整備行い、新たな植樹スペースを設ける

・樋管への影響と桁下高の建築限界確保の観点からパラペット式の特設堤による整備

・樹木保全の観点から特設堤による整備

・完成堤(土堤)による整備

・橋の下は完成堤の高さで整備



環境

・【全体】野川の河床や河岸は、極力現況のまま残す

・過去の環境調査結果を示す
・工事実施前に、再度環境調査を実施する

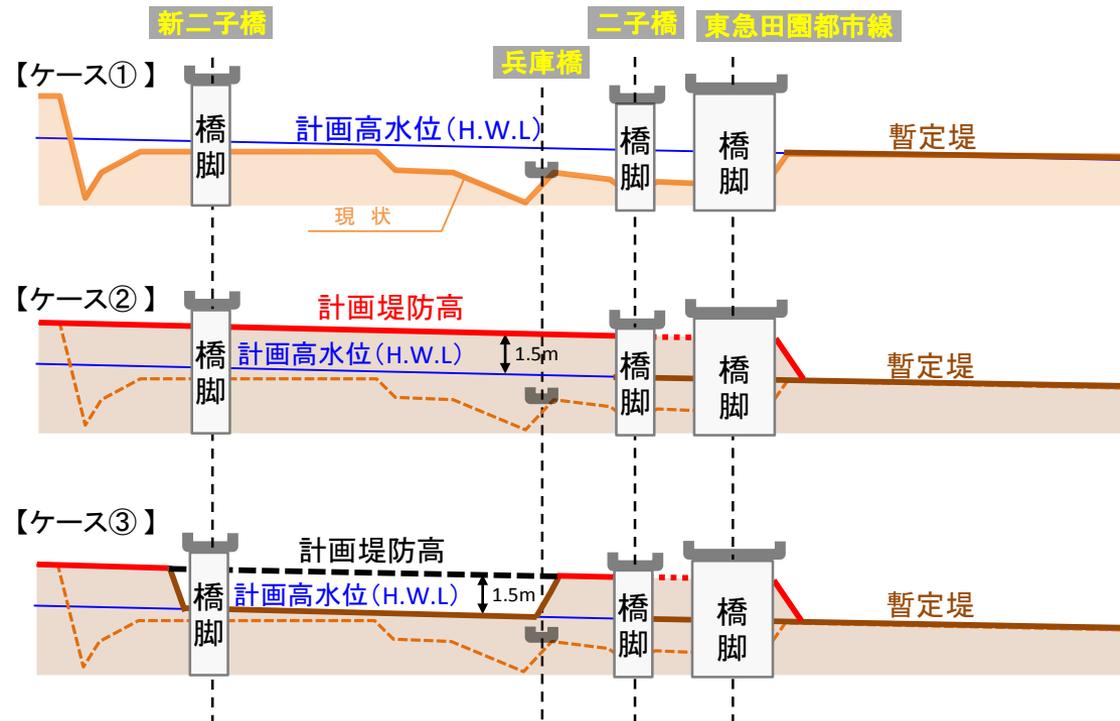
・特設堤の採用により、樹木を極力保全

・堤防構造の工夫により一部樹木を保全

4. 洪水時の越水氾濫イメージ



【正面図(A-A'断面)】



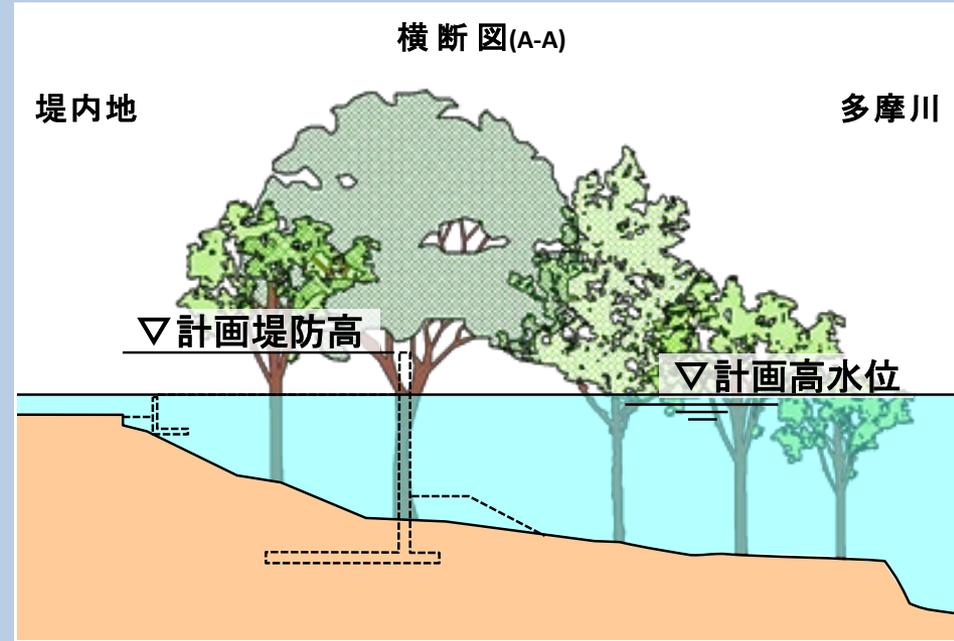
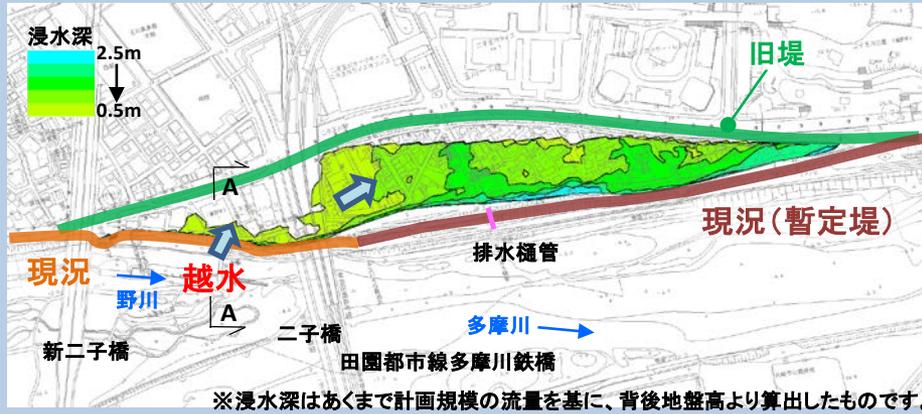
検討ケースと整備する擁壁高

ケース	新二子橋～兵庫橋
ケース① 現状	現状
ケース②	計画堤防高 (計画高水位+1.5m)
ケース③	計画高水位

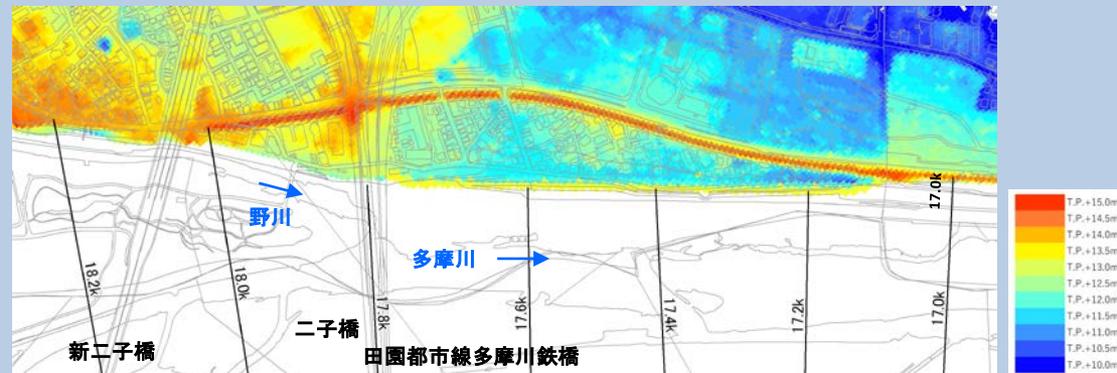
4. 洪水時の越水氾濫イメージ

■ 整備範囲から越水した場合の氾濫想定イメージ

ケース①： 現状



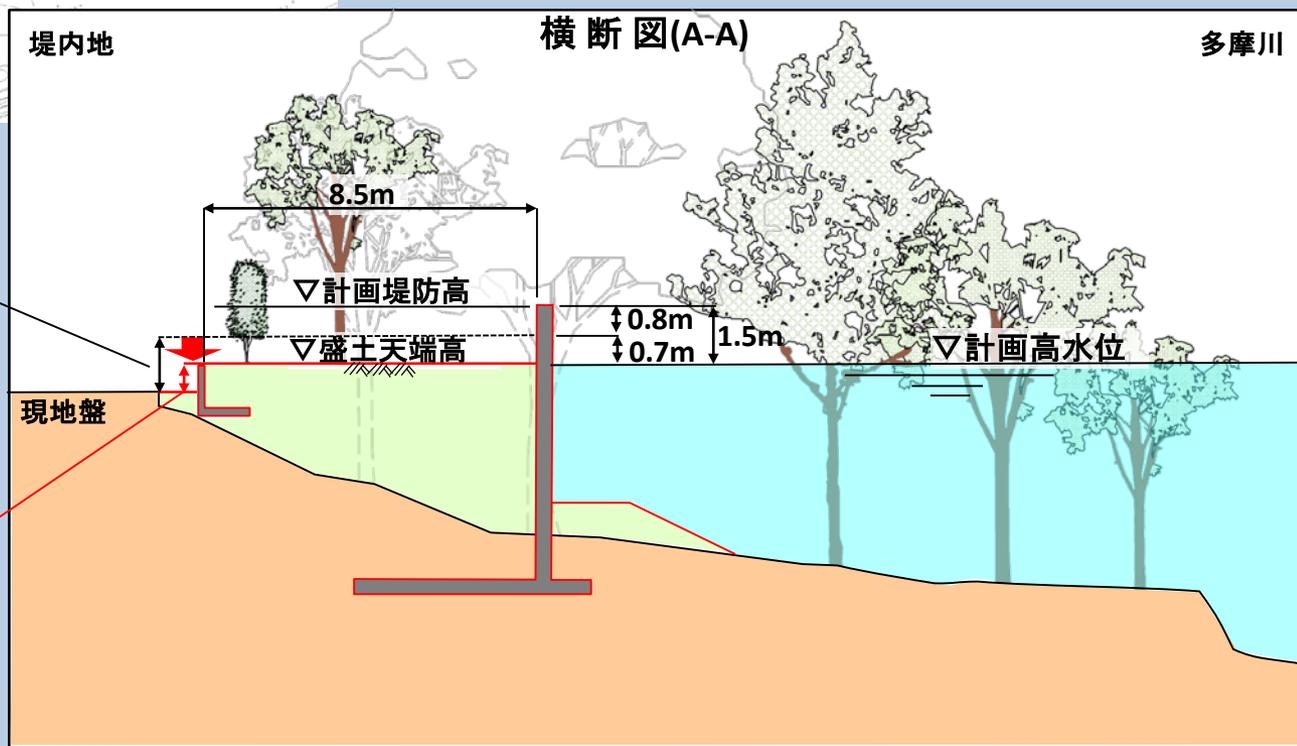
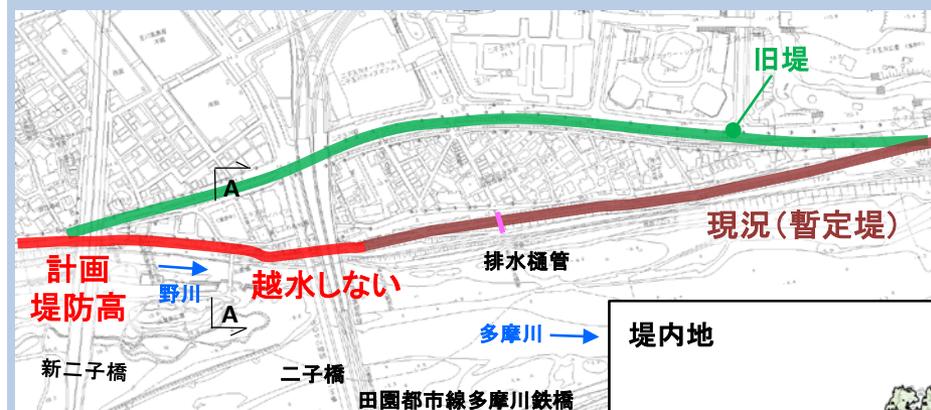
堤内地盤高



4. 洪水時の越水氾濫イメージ

■ 整備範囲から越水した場合の氾濫想定イメージ

ケース② : 整備する擁壁高=**計画に必要な高さ**(計画高水位+1.5m)



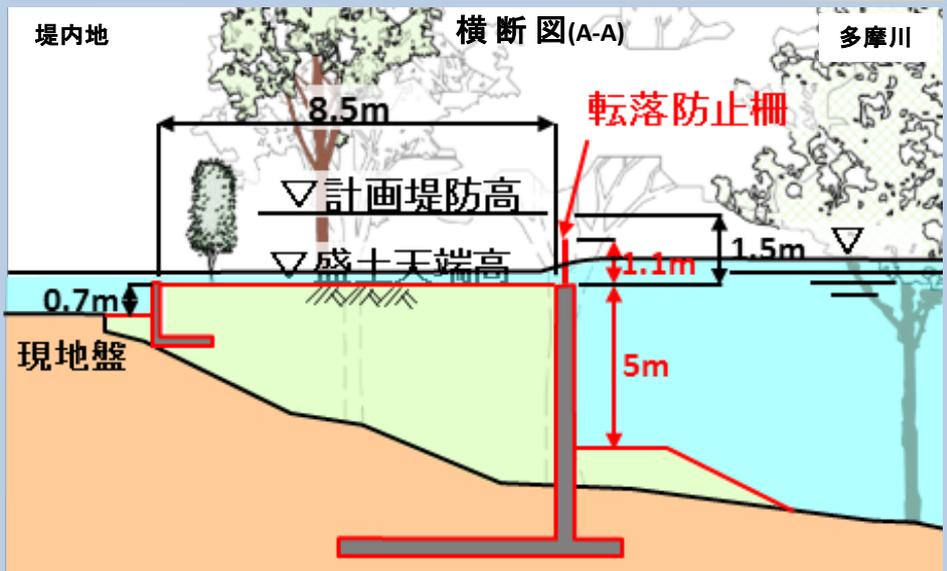
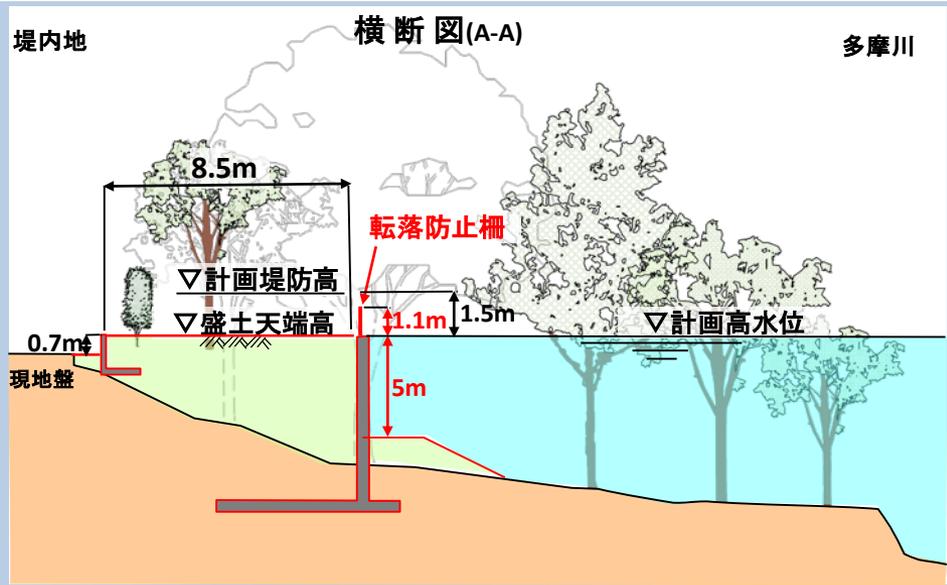
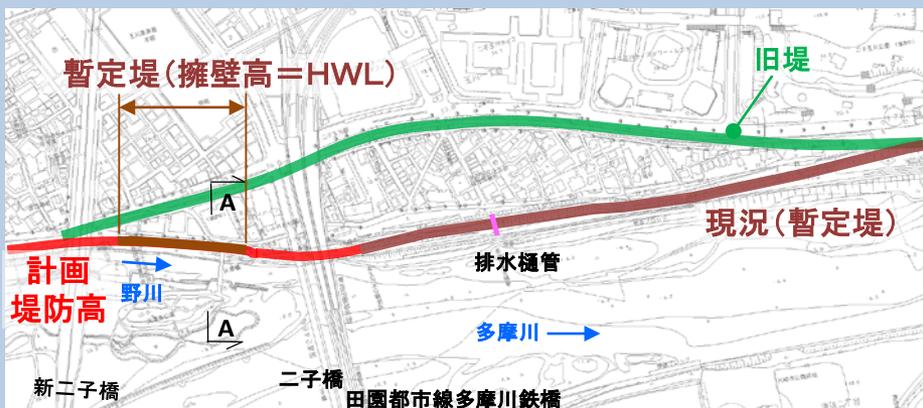
前回WG時までは、
現地盤から約 1.4m

今回盛土高
現地盤から約 0.7m

4. 洪水時の越水氾濫イメージ

■ 整備範囲から越水した場合の氾濫想定イメージ

ケース③： 整備する擁壁高
= 計画高水位

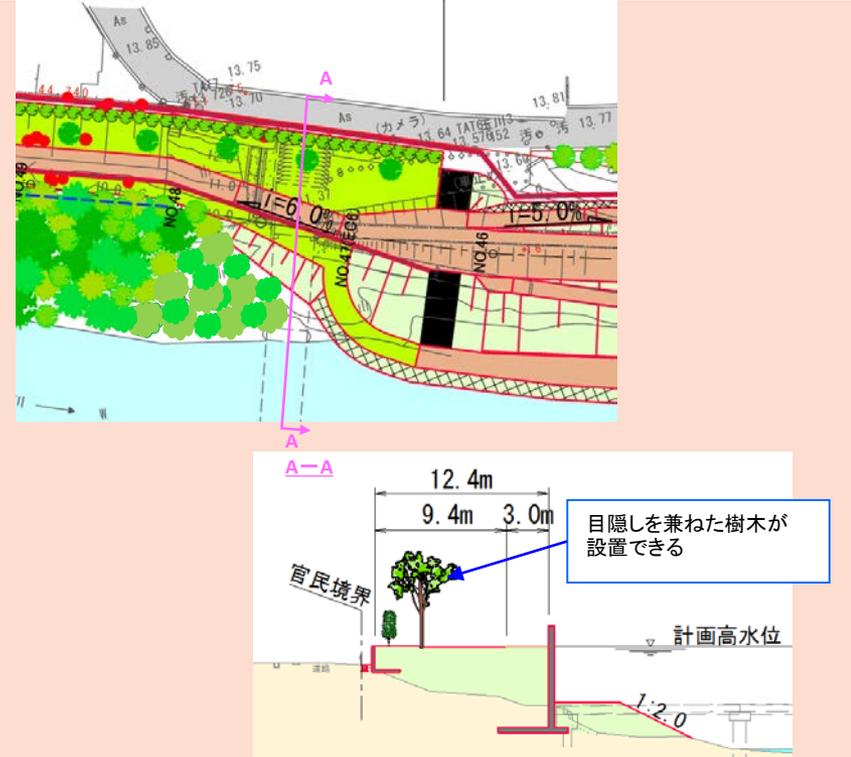


- 1. 転落防止柵が管理上必要となる
- 2. 計画高水位 (H.W.L.) を超える洪水では、住宅側に浸水する恐れあり

5. (参考)兵庫橋の取り扱い

	存置案	撤去案
--	-----	-----

概要図



堤防天端の動線	<ul style="list-style-type: none"> • 天端が大きく曲がり、通行しづらい 	<ul style="list-style-type: none"> • 通行しやすい
環境・プライバシー	<ul style="list-style-type: none"> • 堤防の形にくぼみができるため、洪水時にゴミがたまりやすくなる • 兵庫橋がある範囲は、天端の樹木スペースを確保することができないため、目隠しのスペースがない 	<ul style="list-style-type: none"> • 広い樹木スペースを新たに確保できる。 • 目隠しを兼ねた植樹帯も配置できる。
維持管理	<ul style="list-style-type: none"> • 築後約40年が経過し老朽化が進行してるため、維持管理費が必要 	<ul style="list-style-type: none"> • 維持管理費用がなくなる

參考資料

1. WGの振り返り【開催概要】

表 第1回～第4回WGの開催概要

	開催日 と参加者人数	概要
第1回	平成30年 3月3日(土):20名 3月5日(月):15名	多摩川に必要な完成堤を整備するにあたり、現存する河岸の樹木は伐採する事務局案を提示し、参加者から意見を伺った。 主な意見は、「 <u>堤防整備</u> 」、「 <u>環境</u> 」、「 <u>動線</u> 」についてであり、「出来るだけ現存する緑は残して欲しい」という意見が多かった。
第2回	平成30年 6月1日(金):38名 6月2日(土):31名	第1回で頂いた意見を踏まえ、「 <u>連続した動線の確保</u> 」、「 <u>堤防高は確保して樹木の保全を考慮した特殊堤</u> 」、「 <u>マンション前のプライバシー確保</u> 」等を反映した整備案を示し、改めて意見を頂いた。 また、 <u>多自然川づくりの専門家の参加、環境調査結果を示して欲しい</u> という意見が出された。
第3回	平成30年 9月14日(金):22名 9月15日(土):22名	第2回で頂いた意見を踏まえ、さらなる改良案となる「 <u>兵庫橋の保存</u> 」、「 <u>兵庫橋～二子橋区間の樹木保全</u> 」、「 <u>新たな植樹エリアの創出</u> 」等の修正整備案や <u>環境調査結果</u> を提示し、意見をいただいた。 なお、第3回ワーキングより <u>多自然川づくりの専門家も参加した</u> 。
第4回	平成30年 12月22日(土):32名	意見内容が絞り込まれてきたことから「 <u>兵庫橋の保存案、撤去案</u> 」「 <u>堤防沿いの住宅へのプライバシーに配慮した植樹範囲の見直し案</u> 」等について模型を使用した全体討議を実施した。 「 <u>堤防整備(高さ)</u> 」「 <u>兵庫橋の保存・撤去</u> 」「 <u>動線(堤防天端の通行)</u> 」について意見が分かれたことから、再度、次回ワーキングにて詳細設計に向けたとりまとめを行うこととなった。

- 平成30年3月3日(土)、5(月)に、第1回二子玉川地区の水辺地域づくりワーキングを開催しました。
- 水辺地域づくりワーキングには、3日(土)が20名、5日(月)が15名の方にご参加頂きました。

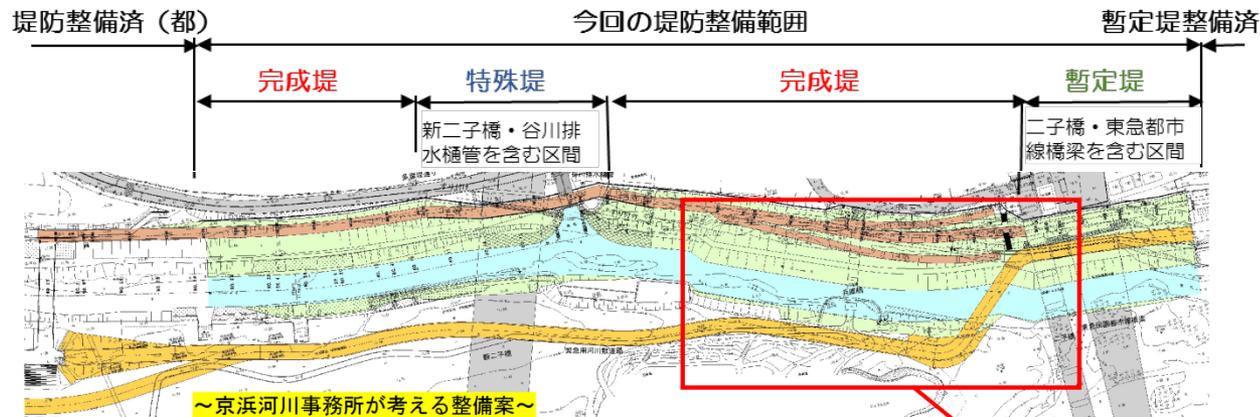
第1回ワーキングの概要

ワーキングは以下のプログラムで進行しました。

1. 事務局による資料説明

二子玉川地区の現状、二子玉川水辺地域づくりワーキングの目的、堤防の高さを確保することを目的とした堤防整備案の説明を行いました。

※今回お示した案は堤防整備として確定した案ではありません。



2. 意見収集 (付箋紙に意見を書いて図面に貼って頂きました)

- ・3日(土)は3班、5日(月)は2班に分かれ、堤防の高さを確保した堤防整備案に対する意見や提案を頂きました。

3. 意見発表 (意見を貼った図面を見ながら発表して頂きました)

- ・各班毎に出された意見や提案について、各班の代表者より意見を発表して頂きました。

4. とりまとめ (東京都市大学：末政教授、五艘准教授)

- ・頂いた意見や提案は、事務局が書き出したものを参加者全員で確認し、コーディネーターのお二人にとりまとめいただきました。

グループに分かれてワークの状況



コーディネーターによる意見とりまとめ



1. WGの振り返り【開催概要：第2回】

※HPに公開の内容

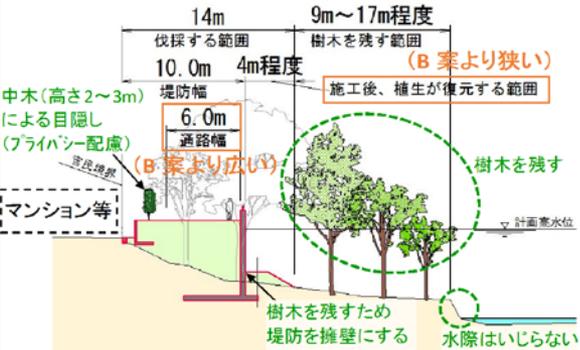
- 平成30年6月1日(金)、2(土)に、第2回二子玉川地区の水辺地域づくりワーキングを開催しました。
- 水辺地域づくりワーキングには、1日(金)が38名、2日(土)が31名の方にご参加頂きました。

～ご提示した主な対応方針～ ワーキングに提示した主な整備方針を紹介します。
 第1回ワーキングの意見をふまえ、「連続した動線の確保」、「特殊堤の採用による樹木の保全」、「緊急用河川敷道路の配置計画を見直すことによる兵庫島の樹木の保全」、「野川の低水路や水際の保全」、「マンション前のプライバシーの確保」、「福祉坂路の設置」等の整備案を示しました。

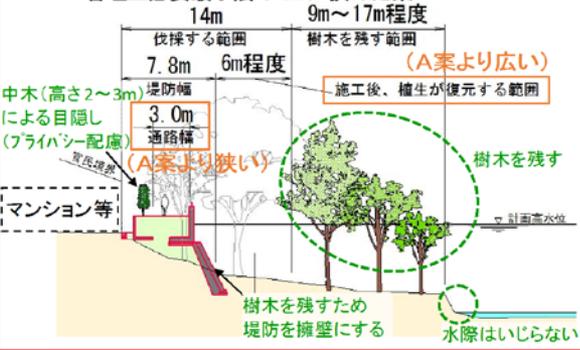


第1回ワーキングのご意見や多自然の専門家にもご意見を頂き、樹木保全方法を提示しました

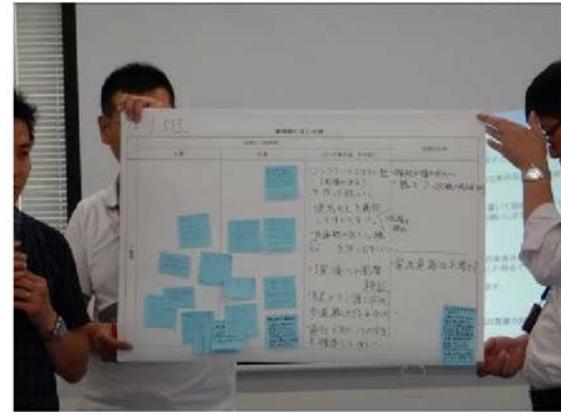
A案：動線を優先して上下流と同じ通路幅(6m)とした案



B案：植生の復元範囲を広げることを優先して、通路幅を管理上必要最小限の3mに狭めた案



グループに分かれてワークの状況



コーディネーターによる意見とりまとめ

1. WGの振り返り【開催概要：第3回】

※HPに公開の内容

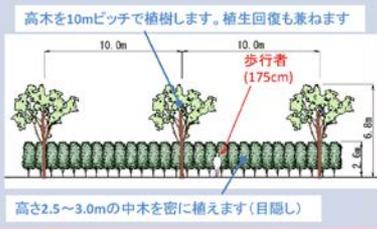
- 平成30年9月14日(金)、15(土)に、第3回二子玉川地区の水辺地域づくりワーキングを開催しました。
- 水辺地域づくりワーキングには、14日(金)が22名、15日(土)が22名の方にご参加頂きました。
- 多自然川づくりの専門家である吉村伸一先生も参加いただき、ご意見を伺いました。

～ご提示した主な対応方針～ ワーキングに提示した主な整備方針を紹介します。
 第2回ワーキングの意見をふまえ「マンション前の樹木による目隠し強化」、「現兵庫橋の存置」等の修正整備案を示しました。

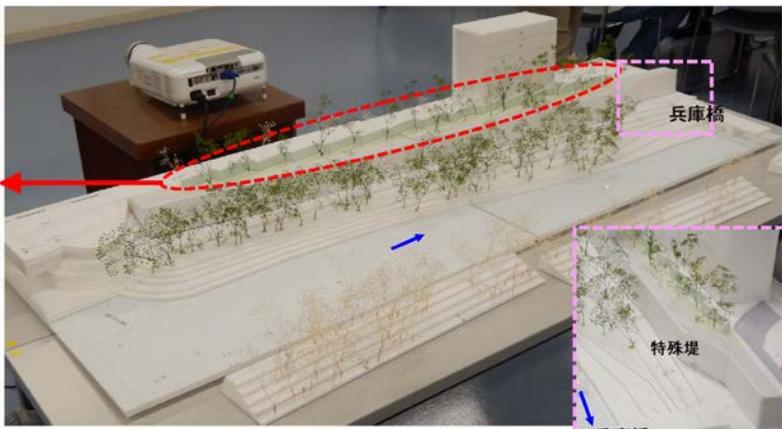
第2回ワーキングのご意見や多自然の専門家にもご意見を頂き、目隠し機能の強化する案を提示しました



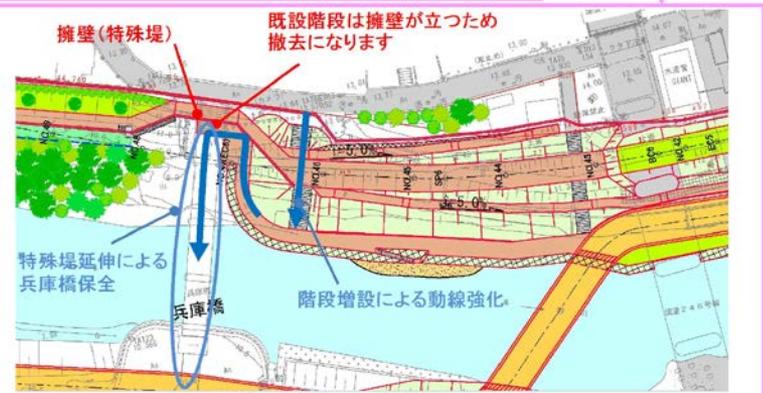
【植樹の正面図】



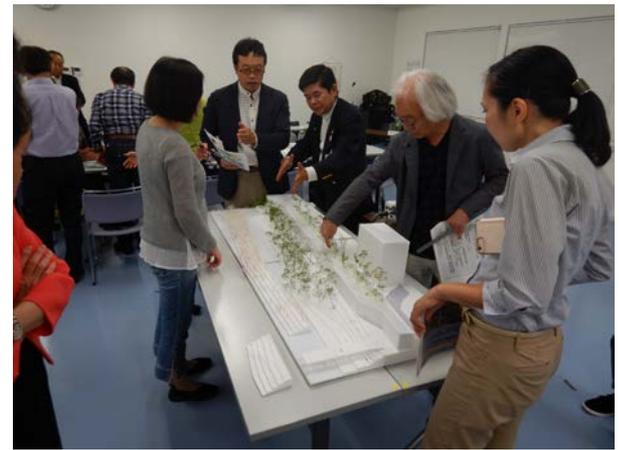
【整備後のフォトモンタージュ】



特殊堤区間を下流へ延伸することで兵庫橋を存置する案を図面、模型、フォトモンタージュで提示しました。



【兵庫橋付近の整備後の平面図】



模型を使用した整備内容の説明状況

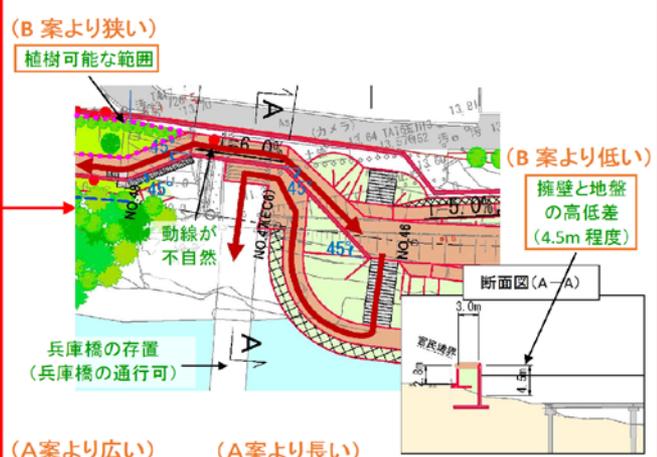


班内討議結果の発表の様子

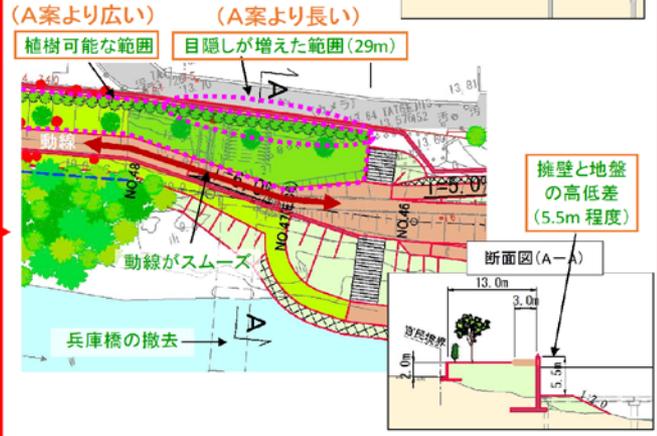
- 平成30年12月22日(土)に、第4回二子玉川地区の水辺地域づくりワーキングを開催しました。
- 水辺地域づくりワーキングには、32名の方にご参加頂きました。
- 多自然川づくりの専門家である吉村伸一先生も参加いただき、ご意見を伺いました。

～ご提示した主な対応方針～ ワーキングに提示した主な整備方針を紹介します。
第3回ワーキングの意見をふまえ「兵庫橋を残す案と撤去する案」、「堤防沿い住宅へのプライバシーに配慮した植樹範囲の見直し案」等の修正案を示しました。

A案：兵庫橋を残す場合



B案：兵庫橋を撤去する場合



模型を使用した整備内容の説明状況



全体討議の様子

1. WGの振り返り【整備案の流れ】

表 第1回～第4回WGまでの整備案の流れ(1)

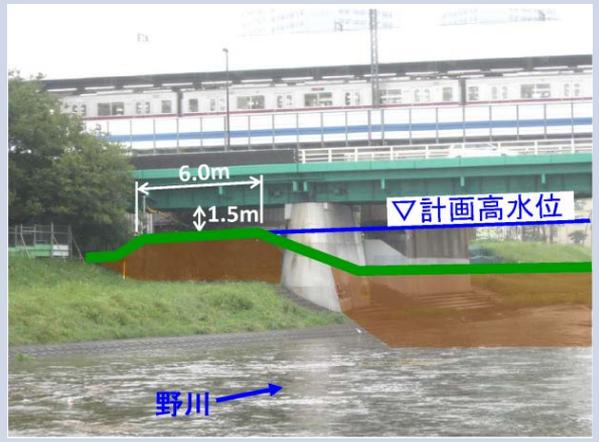
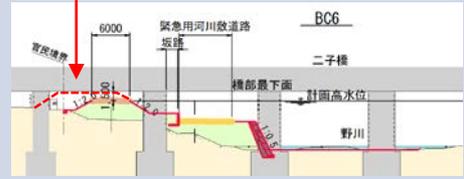
	提示案	概要
<p>第1回</p> <p>整備計画に基づく完成堤(土堤)案</p> <p><基本方針></p> <ul style="list-style-type: none"> 整備のための用地が確保されているため、完成堤(土堤)による整備が基本 橋梁桁下など制約条件がある区間は、暫定堤や特殊堤による整備 		
<p>第2回</p> <p>第1回WGに基づき、マンション前を特殊堤として樹木を保全する案を複数案提示</p>	<p>対策案A</p>	

1. WGの振り返り【整備案の流れ】

表 第1回～第4回WGまでの整備案の流れ(2)

	提示案	概要	
第3回	<p>第2回WGの意見を、ほぼ反映した整備案を図面と部分模型で提示</p>		<p>第2回WGから見直したもの</p>
第4回	<p>第3回WGの意見を受けて、兵庫橋の撤去の有無、プライバシー対策範囲の延伸等を見直し全体模型や比較可能な部分模型を提示</p>		<p>第3回WGから見直したもの</p>

2-1. 堤防整備【二子橋～下流端】

	第1回WG	第2回WG	第3回WG	第4回WG
整備イメージ		<p>二子橋の桁下が低いため堤防は暫定堤防(計画高水位の高さ)とします</p>  <p>緊急用河川敷道路部で動線は確保できます</p> <p>計画堤防高まで盛土整備を行うと、桁下の余裕高が確保できない</p> 	— (同左)	— (同左)
概要	・施工条件の観点から下流と同様に 暫定堤による整備 を行う案	・施工条件の観点から下流と同様に 暫定堤による整備 を行う案(第1回WGと同様)	—	—
意見	・下流の暫定堤防の形のままの延長では困る	・暫定堤による整備に反対する意見は、出なかった	—	—
対応	・フォトモンタージュを作成し、再度丁寧な説明を行い理解を求める	・暫定堤による整備を行うことで整備案を作成し第4回までに至る。	—	—

⇒整備案への反映事項: 暫定堤による整備 参考-8

2-1. 堤防整備 - 動線・環境含めて - 【兵庫橋～二子橋】

	整備イメージ	概要	意見	対応
第1回 WG		<ul style="list-style-type: none"> ・完成堤(土堤)により整備する案 	<ul style="list-style-type: none"> ・完成堤により整備することの反対意見は出なかった ・上流の雑木林を保全するために堤外地側の福祉坂路を下流に移動してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・上流の雑木林を保全するため、堤外地側の坂路を下流に移動することを検討
第2回 WG		<ul style="list-style-type: none"> ・完成堤(土堤)により整備する案 ・堤外地側の福祉坂路を上流の雑木林を保全するように配置 	<ul style="list-style-type: none"> ・兵庫橋～癒しふれあい館付近(プラウド前)の樹木を残してほしい ・階段を増設し、イベント時の動線を強化してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラウド前の樹木を極力保全するための堤防及び坂路構造を検討 ・階段の増設を検討
第3回 WG		<ul style="list-style-type: none"> ・完成堤(土堤)により整備する案 ・プラウド前の樹木の一部を保全(空いたスペースに植樹も可能) ・階段を2箇所を増設 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備案を反対する意見は、出されなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回～2回WGにいただいた意見を参考にした完成堤による整備を行うことで原案に至る
第4回 WG	<p style="text-align: center;">— (同上)</p>	<p style="text-align: center;">—</p>	<p style="text-align: center;">—</p>	<p style="text-align: center;">—</p>

⇒整備案への反映事項: 完成堤(土堤)による整備 参考-9

2-1. 堤防整備【兵庫橋～谷川排水樋管】

	第1回WG	第2回WG		第3回WG	第4回WG
		A案	B案		
整備イメージ					— (同左)
概要	<ul style="list-style-type: none"> 完成堤(土堤)整備として樹木は全て伐採する案 	<ul style="list-style-type: none"> 樹木を極力、保全できるように、特殊堤を採用し堤防幅を狭めることで樹木の保全を図った案を提示 堤防の構造を、直壁にしたA案、斜めにしたB案を提示し議論した 	<ul style="list-style-type: none"> 天端幅に植樹スペースを確保できるA案をベースにプライバシー対策も踏まえた断面を提示 	—	
意見	<ul style="list-style-type: none"> 樹木を残してほしい、景観を守ってほしい、環境教育の場を残してほしいなど、多くの反対意見がだされた 	<ul style="list-style-type: none"> 堤防整備方針のまえに環境調査の結果を提示すべき 多自然川づくりの専門家をワーキングに参加してほしい もっと樹木を残して環境を重視してほしい 癒しふれあい館から兵庫橋付近の樹木も極力残してほしい等の意見がだされた 	<ul style="list-style-type: none"> プライバシー範囲の強化 天端の通行をやめてほしい等の意見が出された 	—	
対応	<ul style="list-style-type: none"> 樹木を保全できる堤防断面の案を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 環境調査結果の整理と提示 多自然川づくり専門家(吉村先生)の参加 天端に新たな植樹範囲を確保(プライバシー対策兼用) 一部区間の断面を見直して赤松等も極力保全 	<ul style="list-style-type: none"> プライバシー対策区間を下流まで延伸させ現案にいたる 	—	

⇒整備案への反映事項: 第3回に提示した特殊堤による整備

2-1. 堤防整備 【谷川排水樋管～新二子橋】

	第1回WG	第2回WG	第3回WG	第4回WG
整備イメージ		— (同左)	— (同左)	— (同左)
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新二子橋の桁下の建築限界確保の観点から、パラペット式の特殊堤による整備を行う案 	—	—	—
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊堤による整備を反対する意見は、出なかった 	—	—	—
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・特殊堤による整備を行うことで原案に至る 	—	—	—

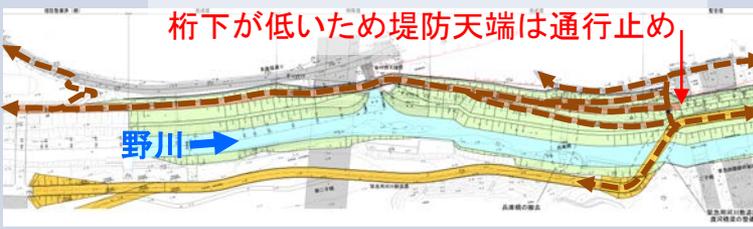
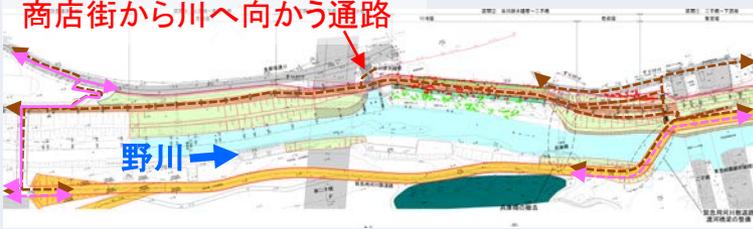
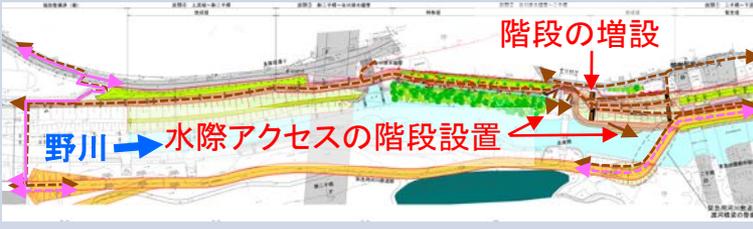
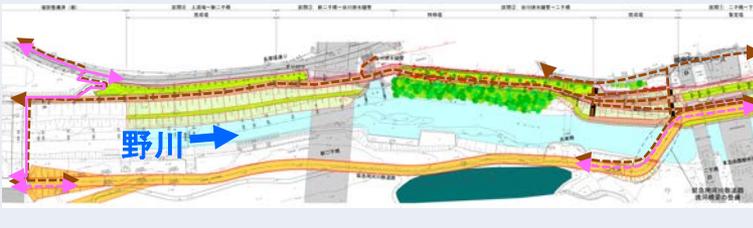
⇒整備案への反映事項:パラペット式の特殊堤による整備 参考-11

2-1. 堤防整備【新二子橋上流～】

	第1回WG	第2回WG	第3回WG	第4回WG
整備イメージ		 	— (同左)	— (同左)
概要	・完成堤(土堤)により整備する案	・天端には、新たな植樹スペースを確保し、良好な環境を創出	—	—
意見	・完成堤(土堤)による整備を反対する意見は、出なかった	・新たな植樹スペースを確保することに反対する意見は、出なかった	—	—
対応	・完成堤(土堤)による整備を進める	・完成堤による整備を行うことで原案に至る	—	—

⇒整備案への反映事項: 第2回に提示した完成堤(土堤)による整備 参考-12

2-2. 動線

	整備イメージ	概要	意見	対応
第1回 WG	 <p>※歩行者・自転車・自動車の区分の明示なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・上流から下流まで堤防天端を利用 ・二子橋より下流へは通行止め ・兵庫島へは、緊急河川敷道路渡河橋を利用 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街から川に向かう通路がほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街から川に向かう通路を検討
第2回 WG	 <p>----- 歩行者・自転車 - - - - 自転車(緊急時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な方針は、第1回WGと同様 ・商店街から川に向かう通路を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・雑木林の区間は、人を通さないでほしい。 ・階段を増設し、イベント時の動線を強化してほしい。 ・教育活動できるようにしてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・階段の増設および水際へのアクセス階段の設置を検討 ・雑木林の区間については、部分模型を作製し、再度説明し、理解を求める
第3回 WG	 <p>----- 歩行者・自転車 - - - - 自転車(緊急時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な方針は、第2回WGと同様 ・階段を1基増設 ・水際へのアクセス階段を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・雑木林の区間は、人を通さないでほしい。 ・水際アクセスの階段は不要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水際へのアクセス階段の撤去を検討 ・雑木林の区間については、再度説明し、理解を求める
第4回 WG	 <p>----- 歩行者・自転車 - - - - 自転車(緊急時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な方針は、第3回WGと同様 ・水際アクセスの階段を削除した案 	<ul style="list-style-type: none"> ・雑木林の区間は、人を通さないでほしい。 ・堤防はみんなのもの。自由に通れることも考えるべきでは。 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備後に通行止めにすることも可能であるため、引続き協議を実施していく

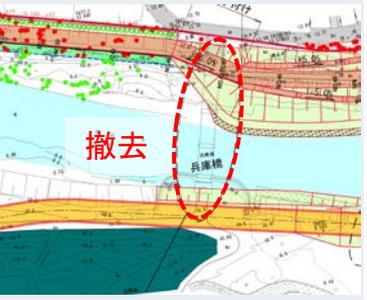
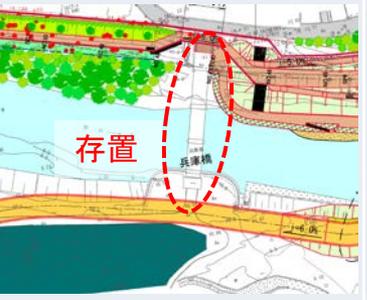
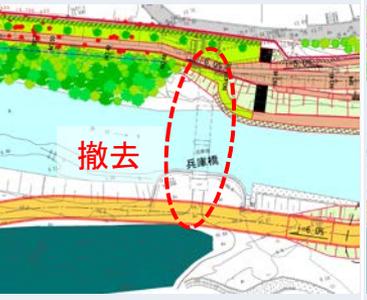
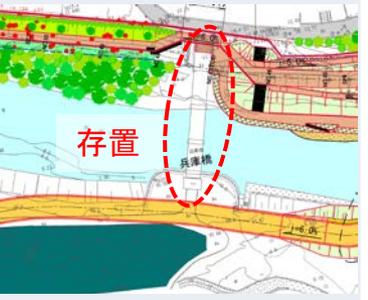
⇒整備案への反映事項: 継続協議

2-2. 動線 -目隠し対策- 【兵庫橋～谷川排水樋管】

	第1回WG	第2回WG	第3回WG	第4回WG
整備イメージ	<p>6000 坂路 官民境界</p>	<p>6.000 中木(高さ2~3m)による目隠し 官民境界</p>	<p>6.0m 3.0m 水平・高さ方向の目隠し強化 官民境界 4m 5.1m 高木を10mピッチで植樹 植生回復も兼用 10.0m 10.0m 高さ2.5~3.0mの中木を密に植える(目隠し)</p>	<p>目隠しが増えた範囲29m 兵庫橋撤去</p>
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシー対策は未考慮(樹木等の目隠しは未配置) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中木の生垣(高さ2~3m)による目隠し 	<ul style="list-style-type: none"> ・中木の生垣と高木(10mピッチ)により、水平方向と高さ方向の目隠し機能を強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・目隠しの範囲を延伸した案(29m) ・延伸に伴い兵庫橋の撤去が伴う
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションへの目線が気になる、プライバシーが守られない 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション前を通行するなら、目隠しを強化してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・目隠しを延伸してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> ・目隠し方法に反対する意見は、出なかった
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・堤防構造と併せて、目隠し対策を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案した目隠しを強化する工夫を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・目隠しを延伸する工夫を検討 	<p>—</p>

⇒整備案への反映事項: 第3回WGの強化対策により、第4回の範囲を整備 参考-14

2-2. 動線 -兵庫橋の取り扱い-

	第1回WG	第2回WG	第3回WG	第4回WG	
				兵庫橋を撤去する案	兵庫橋を残す案
整備イメージ					
概要	<ul style="list-style-type: none"> 完成堤(土堤)が兵庫橋にかかるため撤去 	<ul style="list-style-type: none"> 特殊堤と完成堤(土堤)のすりつけ区間が兵庫橋にかかるため撤去 	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫橋を存置 	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫橋を撤去案と兵庫橋の存置案の両案を提示 	
意見	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫島が避難所となっている。兵庫橋は、重要 	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫橋を存置してほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫橋を残すため、いびつな堤防線形となる。兵庫橋を撤去してスムーズな線形としてほしい 	<ul style="list-style-type: none"> 歴史があるもの。二子玉川らしさを残してほしい 便利なので残してほしい 代替の橋ができるのだから撤去してほしい 	
対応	<ul style="list-style-type: none"> 商店街から川に向かう通路を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫橋を存置するための堤防構造を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 兵庫橋を撤去してスムーズな線形を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して協議する 	

⇒整備案への反映事項: 継続協議

2-3. 環境 -環境調査結果概要①-

- 二子玉川地区における環境調査は下図の範囲で、水辺の国勢調査等により、鳥類、植物、両生類、哺乳類、魚類、底生動物、爬虫類、昆虫類についての調査を実施しています。
- 今後は、工事着手前までに再度、環境調査を実施し、アセス手続きをする予定です。
- 調査で重要種等が確認された場合は、影響が最小限となるよう、施工方法の見直しや移植等の保全対策を検討していきます。

※乱獲される恐れがあるため、重要種についての詳細(調査地点等)を示すことはできません



2-3. 環境 - 環境調査結果概要② -

■ 植物調査は、水辺の国勢調査と樹木詳細調査(H22年度実施)があります。樹木詳細調査はマンション前の樹高2m以上の樹木を対象に、樹高・幹径・位置等について詳細に調査していますが、この範囲に**重要種は存在せず、約3割が外来種**で、在来種でも庭木として植えられるような園芸種が多く含まれています。

■ 水辺の国勢調査・・・植物(全241種うち**重要種は以下の5種**)

ジャヤナギ	マツモ	カワヂシャ	マコモ	ウキヤガラ
-------	-----	-------	-----	-------

■ 樹木詳細調査(マンション前の樹高2m以上の樹木を対象。**重要種は無し**)

【外来種】

樹種	本数	区分
アオギリ	2	高木
イチヨウ	1	〃
セイヨウハコヤナギ	1	〃
トウカエデ	1	〃
ヒマラヤスギ	1	〃
ウメ	5	中高木
カリン	6	〃
キンモクセイ	2	〃
ゲッケイジュ	2	〃
ザクロ	1	〃
トウネズミモチ★	83	〃
ハナミズキ	1	〃
マメガキ	8	〃
ユズ	13	〃
ロウバイ	1	低木
合計	128	

【在来種】

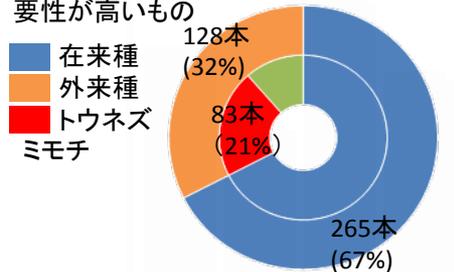
樹種	本数	区分
アカマツ	11	高木
ウワミズザクラ	2	〃
エノキ	36	〃
カヤ	1	〃
クスノキ	5	〃
クマノミズキ	3	〃
クロマツ	5	〃
ケヤキ	4	〃
サイカチ	1	〃
シラカシ	9	〃
ソメイヨシノ	8	〃
マテバシイ	2	〃
ミズキ	1	〃
ムクノキ	66	〃
アカメガシワ	2	中高木
イロハモミジ	11	〃
ウバメガシ	1	〃

樹種	本数	区分
ウンシュウミカン	1	中高木
エゴノキ	1	〃
カクレミノ	1	〃
カナメモチ	1	〃
カマツカ	1	〃
クサギ	1	〃
サザンカ ○	1	〃
シュロ ○	23	〃
シロダモ	2	〃
センダン	10	〃
ネズミモチ	5	〃
ヒサカキ	1	〃
ビワ ○	13	〃
モチノキ	7	〃
モッコク	5	〃
ヤブツバキ	10	〃
ヤマグワ	7	〃

樹種	本数	区分
アオキ	4	低木
カンツバキ	1	〃
サザンカ	1	〃
ムラサキシキブ	1	〃
合計	265	

合計:398本(不明5本含む)

★環境省指定:重点対策外来種(注)
注)国内に定着が確認され、生態系等へ被害を及ぼしている又はその恐れがある外来種(総合対策外来種)のうち、甚大な被害が予想されるため対策の必要性が高いもの



○関東には自生しない樹木

■鳥類調査は、河川水辺の国勢調査や「世田谷の鳥2015 2017年 一般財団法人世田谷トラストまちづくり野鳥ボランティア」があります。合わせて96種が確認され、そのうち重要種は以下の38種です。

ヒメアマツバメ	コサメビタキ	ミサゴ	チョウゲンボウ
カイツブリ	ヒバリ	コアジサシ	ハヤブサ
オシドリ	クロジ	イソシギ	カワセミ
ミコアイサ	モズ	ウズラシギ	ササゴイ
ヨシガモ	オオヨシキリ	コアオアシシギ	サンカノゴイ
ウソ	オオタカ	サルハマシギ	コサギ
ベニマシコ	ツミ	コチドリ	チュウサギ
ヤマガラ	トビ	シロチドリ	ダイサギ
セグロセキレイ	ノスリ	オオバン	
イソヒヨドリ	ハイタカ	チゴハヤブサ	

※重要種:「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)～東京都レッドリスト～ 2010年版」で、区部において絶滅危惧Ⅰ類・絶滅危惧Ⅱ類・準絶滅危惧・情報不足と評価されるもの

■二子玉川地区における植物・鳥類以外の生物の種類数と重要種の種名は下記の通りです。

項目	重要種	項目	重要種
魚類(全23種種、 うち重要種は8種)	ニホンウナギ	両生類(全1種)	—
	ゲンゴロウブナ	哺乳類(全1種)	—
	カマツカ	昆虫類(全214種、 うち重要種は1種)	ハグロトンボ
	ドジョウ		
	シマドジョウ		
	ナマズ		
	メダカ南日本集団		
	ヌマチチブ		
底生動物(全39種、 うち重要種は1種)	スジエビ		
爬虫類(全3種種、 うち重要種は1種)	ニホンカナヘビ		

※重要種:「東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)～東京都レッドリスト～ 2010年版」で、区部において絶滅危惧Ⅰ類・絶滅危惧Ⅱ類・準絶滅危惧・情報不足と評価されるもの

2-3 . 環境 【野川】

	整備イメージ	概要	意見	対応
第1回 WG		<ul style="list-style-type: none"> ・完成堤(土堤)が河道内に及ぶ ・築堤の影響により対岸側を掘削する必要が生じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・水中生物等に配慮してほしい ・親水性を保持したい 	<ul style="list-style-type: none"> ・現況の河川環境を保全する整備を検討
第2回 WG		<ul style="list-style-type: none"> ・河床や河岸・水際は極力現況のまま残す 	<ul style="list-style-type: none"> ・河床や河岸・水際は極力現況のまま残すことに反対する意見は、出なかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・河床や河岸・水際は極力現況のまま残すことで原案に至る
第3回 WG	<p style="text-align: center;">— (提示なし)</p>	<p style="text-align: center;">—</p>	<p style="text-align: center;">—</p>	<p style="text-align: center;">—</p>
第4回 WG	<p style="text-align: center;">— (提示なし)</p>	<p style="text-align: center;">—</p>	<p style="text-align: center;">—</p>	<p style="text-align: center;">—</p>

⇒整備案への反映事項: 河床や河岸・水際は極力現況のまま残す